

12/31 木

「コロナ変異株の無料検査」

新型コロナウイルスで、検査の基準単価を新たに変異株「ヤマ」の市中感染が東京都、大阪府、京都市などで確認された。PCR検査などの無料検査を実施しています。

東京都は国の基準に合わせた上限の1000円で、PCR検査や抗原検査などの無料を、「地域の実勢価格に合わせた」と説明します。

無症状感染者の発見に伴う無料検査を評価する声がある一方、政府や自治体による補助金交付の姿勢が検査費用の抑制につながると懸念を持たれています。

PCR検査は、市町村に対する補助額について、数件分の検査をまとめて回収機などを行なう方法であれば、前後で実施が可能ですが、ただ、医療機関などでの確定診断の使用されるPCR検査の試験は、5000～8000円。人件費や設備費などを算えると1000円を上限とする金額での算計は難しくとも、件下りに半ば31日以内で回収機などを行なう場合は、年4月一日から7000円となります。

基準より低い補助額も公費の抑制に懸念

政府は診療報酬の引受けで実施が可能ですが、ただ、医療機関などでの確定診断の使用されるPCR検査の試験は、5000～8000円を上限とする金額での算計は難しくとも、件下りに半ば31日以内で回収機などを行なう場合は、年4月一日から7000円となります。

政府は、「無料検査で行われているPCR検査と医療機関での検査は、同様のものだと想います。」と懸念を示します。

厚生労働省は、PCR検査を受託する検査機関に聞くところ、諸経費として支払われる一件当たり3000円の補助金を加えても「非常に厳しい金額だ」とする旨があがりました。

外部委託している場合

(田中智)